

# くすのき

《題字》  
筆耕同好会 勝本 英子書

がんばれ日本、シルバーパワーで地域密着・地域貢献！



泉井上神社 和泉市府中町6-2-38 (JR阪和線 和泉府中駅より徒歩10分)

## 和泉の郷再発見！

大昔、大和時代に急に泉ができ、清い水がこんこんと湧き出した。この水を霊泉といい、これが「和泉」の国名の源となった。

以来、奈良時代に入り、この地が国府となり、地方行政の中心地となる。その泉を有するのが現在、府中町に位置する泉井上神社である。

泉井上神社は和泉総社と呼ばれ、泉州全体の氏神として崇敬されてきた。南北朝時代や室町時代には、国府城主として、祭り事や政治を行っている。後に豊臣秀吉により規模を縮小されるまで、繁栄を続けてきた。代々脈々とその歴史が受け継がれ、その子孫が現在も官司を務めている。

現存する建造物をはじめ、国の重要文化財を数多く有する、まさに「和泉の郷」の輝かしい歴史を育んできた名所地である。

我が国の歴史上重要な役割を果たしてきた「和泉の郷」。和泉市民の誇りとして後世に残し、伝えていきたいものである。



# 第29回 通常総会〔報告〕

5月28日(土)、第29回通常総会が盛大に開催された。会場は、和泉シティプラザ・弥生の風ホール。1,044人(委任状557人を含む)の会員が出席。



油谷理事長は挨拶の冒頭で、東日本大震災での犠牲者への哀悼の意と被災された方々へのお見舞いを述べると共に一日も早い復旧・復興を祈念された。「今年度は、公益社団法人への移行申請の年でもある。シルバーを取り巻く環境は厳しいが、存在意義は重要性を増している。事業の効率化・事務機能の強化を図り、足腰の強いシルバー人材センターを目指します」と、力強く述べた。

## 《議事のすべて承認》

来賓の祝辞の後、10件の議案について審議。事業計画(案)・収支予算(案)・役員を選任について承認された。今年度は、公益社団法人への移行に関する案件が提案され、「定款の変更」「公益社団法人移行当初の代表理事及び業務執行理事について」「役員報酬等及び費用に関する規程の一部改正について」「会費規程の制定について」は、満場一致で承認された。

## 《平成23年度基本方針》

- (一) 会員の入会促進及び会員の意識、知識、技能向上の推進
- (二) 安全・適正就業の推進
- (三) 就業機会の開拓・拡大
- (四) シルバー事業の普及啓発活動の推進



- (五) 地域貢献・社会貢献活動の推進
- (六) 独自事業の推進
- (七) 無料職業紹介事業及び一般労働者派遣事業の推進
- (八) 組織・運営体制の強化
- (九) 市及び関係機関等との連携の強化
- (十) 公益法人への移行の推進

## 会員厚生会 第18回総会

平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)は、すべて可決承認された。

## 新役員紹介

(平成23・24年度)

本総会において、理事6人が退任。新任6人と再任11人の方々が承認されました。

理事長

油谷 巧

副理事長

定 義夫  
立石 元義

理事

有里 榮陽(新)  
大森 良右(新)  
神岡 茂晴  
木寺 正次  
坂本 修二(新)  
澤村 朝子  
高橋 清治  
谷 昌樹(新)  
寺西 博文  
藤原 利男(新)  
松田 眞次(新)  
三井 久行

監事

日下 伸生  
辻村 利蔵

# 公益社団法人への移行に向けて

《平成24年4月1日登記を目指して》

当センターでは……

シルバー事業は、公益事業であり、地域社会での役割を考えると、当センターも新しい法律に基づいて公益法人に移行する必要があります。

昨年、第28回通常総会において、議案第6号で公益社団法人への移行を目指し申請および登記を行う旨承認されています。

## 公益社団法人になると

- ① 社会的な信用が厚くなり、就業機会の拡大が期待される。
- ② 非課税となり税制上の優遇措置がある。

反面、法人の運営や業務内容・事務処理において制約を受け、責任と義務が強化されるほか、より高い透明性及び公益性が求められることとなります。

会員の方々が、就業されることについては、特に変更はありません。

当センターは、平成24年4月1日移行に向けて諸手続を行ってまいります。

## 公益法人制度改革

公益に関する諸法人の現状が、現在の制度と合わなくなってきたため、国が110年ぶりに改革に踏み切りました。

平成20年12月、公益法人制度改革三法が新しく施行され、従来の公益法人は、現在自動的に「特例民法法人」として位置づけられています。

これらの法人は、平成25年11月30日までに公益法人か一般法人への移行申請を行い、認定・許可を受けなければなりません。

全国統一安全就業スローガン(平成23年から平成25年)

# 【安全は 一声かける ゆとりから】

事故に遭わないために  
道路を渡るとき、必ず守りましょう。

【夜間事故に遭わないために……】

車のライトは、歩行者や自転車からは見えますが逆に車の方からは歩行者・自転車あまり見えなそうです。



みる

まわりをよく見る。



たし 確かめる

通り慣れた道路でも…

まつ

「まだ渡れる」  
「止まってくれる」  
は危険です。



と 止まる

渡る前に安全確認を。



安全対策委員会・安全就業推進委員

# 職場探訪 株式会社 エヌビー



会社の全景

「テクノステージ和泉」に入ると、まもなく工場の側壁に「NB」の文字が見える。その工場の正門の左右に狛犬の石像が悠然と構えている。訪問客を歓迎しているかのようだ。

SC会員(男性11名、女性2名)13名が活躍する「(株)エヌビー」社を訪ねた。1982年7月、河内長野市に設立された会社である。

日刊工業新聞にも掲載され、「独自の技術や発想を武器にがんばる、未来を見据えた金型メーカー」として評価を受けている。

## 自社での完全一貫生産体制

後藤裕紀工場長に工場の案内とお話を伺った。「事業内容はユーザの多種多様なニーズに応じられる鉄の加工です。合理化を図る目的で、2009年9月、「テクノステージ和泉」に移転しました。SCとの関わりはその時からです」と熱っぽく語られた。

地デジ特需によるアンテナのサイドベース(設置金具)の製作などがフル稼働されたそうだ。



川西さん

岡崎さん

今後は、ビジネスの基柱として、送配電用金具と太陽光発電パネル用架台の製作など新規部門にも積極的に取組んでいくとのことである。

SC会員の就業形態は、男性は午前9時〜午後5時。男性11名中、毎日5名のローテーションが組まれ、女性は午前10時〜午後1時30分。社員食堂で就業しているという。

## 作業実績の高いSC会員

SC会員の就業状況をお伺いした。工場長は「これまで、何のトラブルもなくまじめに就労して貰っています。仕事の慣れや適性を重視し、仕事場への配置や担当を決めています。作業の出来具合など作業実績が高いので、多くのSC会員との絆を持ったと思います」と高い評価をいただいた。

男性会員が実際に就労している現場に案内された。段ボール箱の組立作業や、メッキ処理された、アンテナ用のサイドベースのボルト締めや穴開けなどを行っている。黙々と細かい作業をされていた。

「毎日、楽しいんです!」



山本さん

ローテーションを組み、食堂の掃除と昼食の補助をする女性会員2名。ごはんや味噌汁を温めたり、お茶を用意したりして、すぐに昼食が摂れるようにしているとのこと。SC会員を代表して、山本三代子さんは「毎日、楽しいんです。ボランティア活動をしてきましたが、

ここでお世話になってから、違った世界が広がりました。会社の方が気さくに声をかけてくれるので元気に頑張っています」と喜び一杯のようだ。

最後に、工場長は「当社は、自分の考えや判断を大切にしてくれるので、失敗をおそれず仕事に取り組み、すぐくやり甲斐があります」と意欲満々だった。

すばらしい環境のなかで就労するSC会員の担う役割は大きく、今後の就業機会につながる糧になりそうである。



工場長と訪問者

若さとパワー溢れる工場長はだんじり祭りの「ハッピー姿」がよく似合いそうな印象をうけました。

(山田・平西)

# 主な行事

## シルバーフェスティバル 平成23年10月1日 (和泉中央駅周辺)



チラシ等配布



エコー・いずみ専門店街



清掃ボランティア



平成23年9月16日

会員厚生会事業  
「敬老お祝い会」

### 《行事予定》

- 11月17日 安全講習会「自転車の安全について」
- 11月23日 会員厚生会事業(日帰り研修会)
- 12月12日 シニア就業支援プログラム体験講座「笑顔のレッスン」
- 12月14日 シニア就業支援プログラム体験講座「チャレンジクッキング」



平成23年1月16日～2月9日

シニアワークプログラム  
技能習得講習会  
**緑化管理**

不安な中、受講したが講師から直接指導を受けるとよくわかり、実技指導が大変勉強になったので参加してよかったです。習った剪定は家の植木で実践しています。  
福瀬町 山下 佐



平成23年1月21日～2月18日

**健康体操**

手拍子や音楽に合わせて体を動かすのが大好き。みんなで大きな声を出して楽しかったです。

くさぎ野 泉 節子

## 母娘、二代で 頑張っています



いぶき野 古川すみ 古川千明

### 長生きの 秘訣は器用な手先

中断されていた会員活動を娘さんの入会と共に再開され、元気に活躍されておられることを知り、ご自宅へお伺いしました。穏やかに日々を送るすみさんは八十六才。着物などの和布を中心にリフォームを楽しみ、小物・ベストなど多種多様な作品を生み出しています。「じーばーのお店」に出品している袋物は、即完売。予約待ち

が出るほどの大人気。今も習っている洋裁の腕前をいかし、自分の大島紬の着物をリメイクしたコートは、丁寧な縫製の上、軽くておしゃれな作りで愛用されています。



### 出会いと 継続は力なり

一方、娘の千明さんは、定年を迎えてセンターに入会。三十四才の頃より絵を習い始め、「関西水彩画会」に三十年近く所属、現在は「日洋会」の会友です。その作品は、水彩画の透明さと爽やかさにあふれ、シルバークラフト出品の「コッツウオル

ドのばら」、「Good Day Sunshine」の前では「わあー、ステキ」の歓声が上がっていました。

「人物」をテーマに風景を合わせるなどして描き続けたいと語られる千明さんは、海外にも及ぶスケッチ旅行、シルバークラフトでの就業、フルートの練習などで忙しく、作品の創作は夜になることが多いとも。

現在、日展評議員の小灘一紀氏に師事、二週間ごとの指導を受けられています。

「先生の指導は厳しい。でも先生の温かい人柄や優しさにふ



れ、創作でスランプに陥ったときも、乗り越えることができ、今日まで続けることができました。

まるで姉妹のような明るいお二人に生涯学び続ける楽しさを教えていただきました。

(青木・大川)

### 俳句同好会 寄稿

- ◆ それぞれの  
あの日あの時終戦日  
康 峯
- ◆ 野の花を  
手折りて佛にウオーキング  
文 月
- ◆ 尺八の  
音色聞きつつ眠る夜  
昭 子
- ◆ 地平線  
入り合いの雲流れ落ち  
和 光
- ◆ 秋ばらの  
香り漂う霊山寺  
たかし
- ◆ 秋の空  
流れる雲の行先は  
弥 生
- ◆ 朝顔のはや  
花期すぎた今朝一輪  
山 水
- ◆ 秋めいて  
止めた車に蜘蛛の糸  
弘 子
- ◆ 被災地の  
陸なる漁船海恋し  
水 車



寺門町 永吉 光逸

昭和十五年、鹿児島県八木塚村という二十五軒の小さな集落で農家の長男として産声を上げた。両親と姉、第三人の七人家族でお世辞にも裕福な家庭ではなかった。高校二年の時に家族の為に中退せざるを得なくなり、学業も友達も捨て大阪へ来ました。

六年目には調理師免許も取得し、料理の修業の為に、十数件のお店で勉強をさせて頂き、他の資格も色々取得出来ました。その頃、最愛の妻と出会い結婚、一男一女を授かり生活も以前と違い少しの余裕も出来ましたので、子供には学校生活を最後まで送らせてやりたい一心でした。



私は、中高と

バスケットボール部に所属。長女も私の影響で

バスケットボールを始め、大学卒業後も友達を集め、私の作ったクラブチームで活動、妻もマネージャーとして協力をしてくれ、和泉大会、泉大津大会、そして大阪府予選堺地区で見事優勝。

## 私の座右の銘は 生涯青春！

ところが、平成十九年八月大阪大会前日、急性心筋梗塞で妻が帰らぬ人となりました。

昨日まであれ程元気な笑顔だった妻が、急に目の前から消えてしまい、夢であってほしい嘘であってほしいと何度願っても叶

う事はありませんでした。妻の他界により

覇気が無くなった

チームも解散、毎

日毎日私は何も

する気もなく夢

遊病者のように

ボーっとしてい

る状態でした。

百ヶ日が過ぎた

ある日、シルバー事

務局から就業の紹

介がありました。気持

ちの整理も付かない、自信

も無い状態でしたが、お受けす

る事にしました。

その日以降は、環境整備員として近くの保育園に就業。園児の可愛い笑顔を毎日見ていると、妻を亡くした寂しさも少しずつ和らぎ、日々、園児から「おじいちゃん」と声をかけられる楽しい毎日です。

私を立ち直らせてくれた子ども達、地域の多くの方々、有り難う。

今では、昔を思い出しながら、和泉市、泉大津市の小学校で毎週三回ミニバスケットのコーチをさせて頂いております。まだまだ私も人様から実年齢よりひと回り若く見られて、七十才を過ぎて益々元気一杯に「青春」を満喫しております。

大阪でお世話になって育て頂き早くも五十三年が経ちましたが、これからも恩返しをさせて頂くことが私の夢です。

がんばれ!!  
日本

# 会員厚生会「同好会だより」

がんばろう!!  
シルバー

## IS(アイエス)ゴルフ会

(Izumishi Silver) 「健康と親睦」がモットー

平成 23 年 3 月より会員を募り、  
同 5 月会員厚生会に認可され発足。  
有志の練習会をかねて 9 月には  
市民ゴルフ大会に参加しました。



## カラオケ同好会

健康はカラオケから!

一番大切なのは健康であることと思います。  
心身ともに頑強な体をつくるにはカラオケを!  
大きな声を出して皆さんの前で歌ってみませんか?  
これからも楽しい企画を作ってまいりますので、  
皆さんの参加をお待ちしています。



- **カラオケ同好会**  
毎月第一・第三土曜日  
午前九時～十二時
- **俳句同好会**  
毎月第一土曜日  
午前十時～十二時
- **歩こう会**  
毎月第三日曜日  
(雨天の状況で変更あり)
- **筆耕同好会**  
毎月第二・第四金曜日  
午後一時三十分～四時
- **ボランテア同好会**  
毎月第二・第三金曜日  
午後一時～四時
- **ボウリング同好会**  
偶数月第四土曜日  
午前十時～二十分  
場所 和泉キングボウル

- **男性調理同好会**  
毎月第三金曜日  
午前九時～十二時  
場所 コミュニティセンター
  - **英語同好会**  
毎月第一～第四金曜日  
(第五週目は休み)  
午後一時～三時
  - **手芸同好会**  
毎月第二木曜日  
午後一時～四時
  - **ゴルフ同好会**  
毎月一～二回 練習会  
年二～三回 大会参加
- ◆ 入会希望の方は、事務局までお問い合わせください。

### 各種教室のご案内

シルバー人材センター会員による  
各種教室を開催しております。

■ **絵画教室**

■ **着物着付け教室**

■ **洋裁教室**

■ **英会話教室**

● **開催場所**

和泉市室堂町六七四一五八  
(彩生館内) シルバー作業所

● **お問い合わせ**

(社)和泉市シルバー人材センター  
☎ 0725-45-5255

### 編集後記

三月十一日の東日本大震災から七ヶ月が経ちました。あの未曾有の災害に見舞われた地域の皆様の深い悲しみが少しずつでも癒され、一日も早く元の暮らしに戻るよう願っています。

多くの人たちが故郷の大切さを心にきざむ今、「和泉の郷」のすばらしさを知ってもらいたい一心から、名所・旧跡などを表紙で紹介していきます。

今年度から四人の新人を迎え八人で担当いたします。新鮮な感覚でより一層充実した紙面づくりをめざします。

来年度は三十周年記念号の発行を控えており、会員皆様の率直なご意見をお寄せください。

また、センター事業の普及・啓発活動にも積極的に努めてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

広報委員会一同